

資料10

地域包括ケア「見える化」システム推計ツール操作講習会  
推計ツールの操作説明・演習

1

3. 推計ツールの操作説明

2

### 本日の説明内容と趣旨

- 将来推計機能の基本的な操作方法について、マニュアル(利用マニュアル【システム操作編②】)に沿って、ご説明しますので、お手元にご用意ください。
- 本日の講習会のゴールは、将来推計機能の「基本的な操作方法について理解する」ことです。
- 講習受講後、改めて将来推計機能进行操作、マニュアルを確認いただくことにより、将来推計機能についての理解をさらに深め、今後開催する伝達講習会でも役立ててください。

3

### 目次

#### 1. はじめに

- ・将来推計機能の概要
- ・将来推計機能を利用するための準備

#### 2. 将来推計機能の使い方

- ・将来推計の流れと主な使い方
- ・将来推計画面を表示する
- ・将来推計を始める
- ・推計に用いる実績値と推計方法を確認・設定する
- ・自然体推計値を確認する
- ・認定者数について施策反映する
- ・施設・居住系サービスの利用者数について施策反映する
- ・在宅サービス利用者数について施策反映する
- ・保険料額を算定する
- ・推計結果を確認する
- ・推計データを中断する／途中から始める

4

## 目次

## 1. はじめに

- ・将来推計機能の概要
- ・将来推計機能を利用するための準備

## 2. 将来推計機能の使い方

- ・将来推計の流れと主な使い方
- ・将来推計画面を表示する
- ・将来推計を始める
- ・推計に用いる実績値と推計方法を確認・設定する
- ・自然体推計値を確認する
- ・認定者数について施策反映する
- ・施設・居住系サービスの利用者数について施策反映する
- ・在宅サービス利用者数について施策反映する
- ・保険料額を算定する
- ・推計結果を確認する
- ・推計データを中断する／途中から始める

5

## 将来推計機能の概要

マニュアル  
W1-3ページ

将来推計機能は、平成27～29年度の「介護保険事業状況報告」に基づき、第7期介護保険事業計画における保険料基準額の推計を支援します。

## (留意事項)

平成29年3月までの間に提供される将来推計機能は「試行版」となります  
(ダミーデータによる推計のため、実際の第7期の保険料基準額は算定できません)。

## 注意事項

- 介護サービス見込み量の推計で使用する各保険者の実績データが初めから登録されています。  
※「試行版」ではダミーデータが登録されています。
- データの追加入力無しに、平成30～32年度における各年度の認定者数、介護サービス見込み量や、第7期保険料基準額の「自然体推計」結果を算定することができます。また、自然体推計を行う際には「被保険者数」「各種介護サービス量の増減の傾き」「実績値として使用する年度」について調整することもできます。
- 各保険者において検討された施策に基づき、認定者数や各種介護サービス見込み量を直接システムに入力することによって、自然体推計結果と比較しながら、施策を反映した後の保険料基準額を算定することができます。
- 保険料基準額の算定後は、各介護サービス見込み量の妥当性確認を支援する「チェックシート」や、推計結果の概要をまとめた「総括表」をExcel形式のファイルでダウンロードすることができます。

6

## 目次

## 1. はじめに

- ・将来推計機能の概要
- ・将来推計機能を利用するための準備

## 2. 将来推計機能の使い方

- ・将来推計の流れと主な使い方
- ・将来推計画面を表示する
- ・将来推計を始める
- ・推計に用いる実績値と推計方法を確認・設定する
- ・自然体推計値を確認する
- ・認定者数について施策反映する
- ・施設・居住系サービスの利用者数について施策反映する
- ・在宅サービス利用者数について施策反映する
- ・保険料額を算定する
- ・推計結果を確認する
- ・推計データを中断する／途中から始める

7

## 将来推計機能を利用するための準備

マニュアル  
W1.4ページ

□ 将来推計機能を利用するためには、「将来推計権限」が付与されたユーザアカウントでログインする必要があります。

➤ 各自治体内のアカウント管理者の方へ

「将来推計権限」のユーザアカウントを作成し、将来推計を実施される担当者へ「ユーザID」と「パスワード」を連絡してください。

※アカウント管理者は、昨年7月に事務連絡に基づいて都道府県経由で発行されたアカウントを用いている方です。

※ユーザアカウントの作成方法は、「利用マニュアル【システム管理編】」「2-2 ユーザアカウントを作成する」を参照。

➤ 将来推計の実施担当者の方へ

組織内のアカウント管理者の方へ、「将来推計権限」のユーザアカウントの作成を依頼してください。


8

### 地域包括ケア「見える化」システムにログインしてみましょう

- 続いて、将来推計機能の使い方の説明に移ります。
- まず、お手元のPCで地域包括ケア「見える化」システムにログインしてみましょう。
- 以降の将来推計機能の使い方の説明では、実際の画面上で適宜操作しながら、説明をお聞きいただいても構いません。  
(本説明後に実際に操作していただく演習時間も設けています)
- ログイン方法は次ページの通りです。

9

### ログイン方法

- Internet Explorerを開き、「見える化」システムにアクセスしてください。
- アドレス：<http://mieruka.mhlw.go.jp/>
- 「ログイン」ボタンをクリックすると、ログイン画面が表示されます。
- 
- 将来推計権限を有するID、パスワードを入力してログインしてください。
    - 初回ログイン時の場合、パスワードの変更が求められますので、新しいパスワードを設定してください。
    - アカウントは本講習会を通してご利用いただきますので、新しいパスワードは忘れないよう、メモなどに保管をお願いいたします。

10

目次

1. はじめに

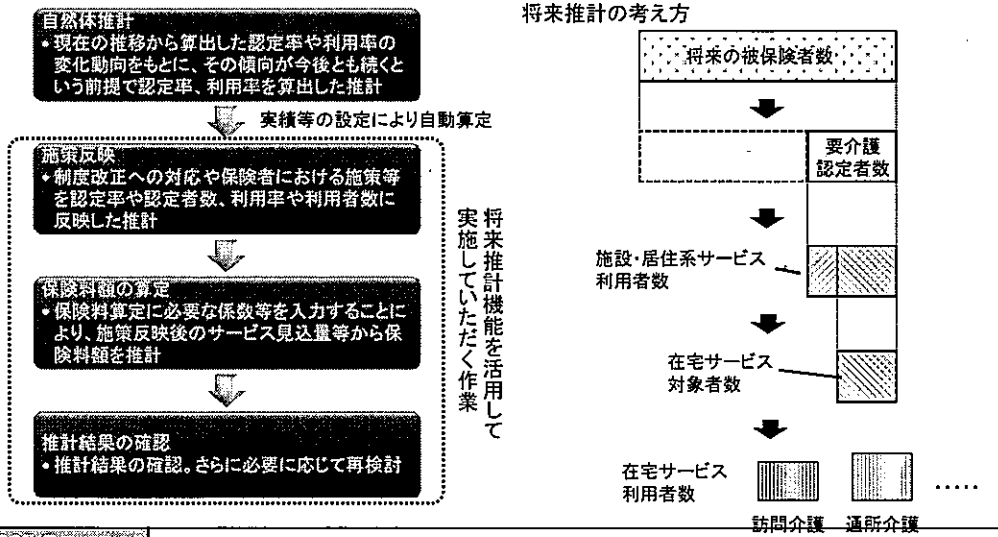
- ・将来推計機能の概要
- ・将来推計機能を利用するための準備

2. 将来推計機能の使い方

- ・将来推計の流れと主な使い方
- ・将来推計画面を表示する
- ・将来推計を始める
- ・推計に用いる実績値と推計方法を確認・設定する
- ・自然体推計値を確認する
- ・認定者数について施策反映する
- ・施設・居住系サービスの利用者数について施策反映する
- ・在宅サービス利用者数について施策反映する
- ・保険料額を算定する
- ・推計結果を確認する
- ・推計データを中断する／途中から始める

将来推計の流れ

推計作業の流れと考え方を以下に示します。



POINT

第6期計画策定用の介護保険事業計画用ワークシート活用マニュアルも参考にしてください。

## 将来推計の流れ

マニュアル  
W2-2ページ

将来推計の全体の流れを以下に示します。

- ①実績及び推計方法の設定
- ②認定者数の施策反映
- ③施設・居住系サービス利用者数の施策反映
- ④在宅サービスの利用者数の施策反映
- ⑤保険料額の算定
- ⑥推計結果概要の確認

## ①実績及び推計方法の設定

将来推計を開始すると最初に表示される画面です。

自然体推計に用いる各種実績データや設定内容を確認・変更することができます。

主な目的

- ・ 総人口、被保険者数の実績、推計値の確認
- ・ 自然体推計に用いる実績値と変化量の設定
- ・ 自然体推計値の算出

13

## 将来推計の流れ

マニュアル  
W2-2ページ

将来推計の全体の流れを以下に示します。

- ①実績及び推計方法の設定
- ②認定者数の施策反映
- ③施設・居住系サービス利用者数の施策反映
- ④在宅サービスの利用者数の施策反映
- ⑤保険料額の算定
- ⑥推計結果概要の確認

## ②認定者数の施策反映

要介護(支援)認定者数の施策反映をします。初期値として自然体推計値が表示されています。

主な目的

- ・ 認定者数の実績値確認
- ・ 認定者数の年度ごとの推移確認
- ・ 施策の結果として見込まれる値の入力

14

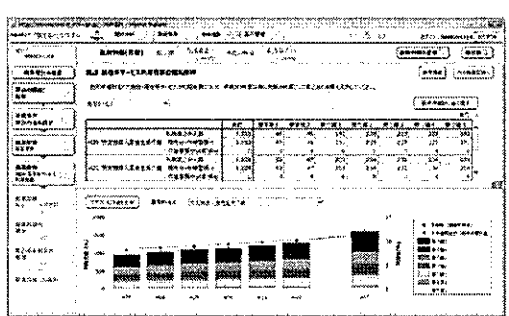
### 将来推計の流れ

マニュアル  
W2-2ページ

将来推計の全体の流れを以下に示します。

- ①実績及び推計方法の設定
- ②認定者数の施策反映
- ③施設・居住系サービス利用者数の施策反映
- ④在宅サービスの利用者数の施策反映
- ⑤保険料額の算定
- ⑥推計結果概要の確認

#### ③施設・居住系サービス利用者数の施策反映



施設・居住系サービス利用者数の施策反映をします。  
初期値としては自然体推計値が表示されています。

- 主な目的
- ・施設居住系サービス利用者数の年度ごとの推移確認
  - ・施策の結果として見込まれる値の入力

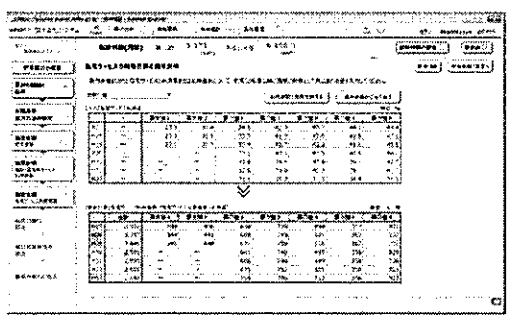
### 将来推計の流れ

マニュアル  
W2-2ページ

将来推計の全体の流れを以下に示します。

- ①実績及び推計方法の設定
- ②認定者数の施策反映
- ③施設・居住系サービス利用者数の施策反映
- ④在宅サービスの利用者数の施策反映
- ⑤保険料額の算定
- ⑥推計結果概要の確認

#### ④在宅サービスの利用者数の施策反映



在宅サービス利用者数の施策反映をします。  
初期値としては自然体推計値が表示されています。

- 主な目的
- ・利用者数の年度ごとの推移確認
  - ・施策の結果として見込まれる値の入力



## 将来推計の流れ

マニュアル  
W2-2ページ

将来推計の全体の流れを以下に示します。

- ①実績及び推計方法の設定
- ②認定者数の施策反映
- ③施設・居住系サービス利用者数の施策反映
- ④在宅サービスの利用者数の施策反映
- ⑤保険料額の算定
- ⑥推計結果概要の確認

## ⑤保険料額の算定

第1号被保険者の保険料額推計に必要な数値を入力し、保険料額を算定します。保険料額の内訳を確認することができます。

主な目的

- ・ 所得段階別第1号被保険者数の入力
- ・ 保険料収納必要額算出に必要な数値の入力
- ・ 保険料額の確認

17

## 将来推計の流れ

マニュアル  
W2-2ページ

将来推計の全体の流れを以下に示します。

- ①実績及び推計方法の設定
- ②認定者数の施策反映
- ③施設・居住系サービス利用者数の施策反映
- ④在宅サービスの利用者数の施策反映
- ⑤保険料額の算定
- ⑥推計結果概要の確認

## ⑥推計結果概要の確認

各入力項目の数値や推移および、保険料額推計結果を年度別で詳細に確認することができます。

これらのデータをまとめた総括表をダウンロードできます。

主な目的

- ・ 施策反映、推計結果、保険料額詳細の確認
- ・ 総括表のダウンロード

18

マニュアル  
W2-4ページ

### 将来推計機能の主な使い方

○将来推計機能におけるデータの仕組み

- 第7期の保険料基準額を算定するため、推計方法や認定者数及び介護サービス見込み量の施策反映値等の情報を利用者がシステムに入力します。
- 入力された各種データと算定された保険料基準額の結果は、任意の推計名を付けてデータ保存します(これを本システムでは推計データと呼びます)。
- 保存された推計データは、入力途中の状態でも保存しておくことができ、ログアウト後も再ログインして推計の続きを実施することができます。
- また、推計データは1保険者あたり最大50件まで登録することができる他、保存した推計データを別名保存して流用することにより、複数の推計パターンを比較・検討することができます。

推計データの内容

<b>入力不要(登録済)</b> 認定者数、介護サービス利用費数、給付費等の実績値	<b>利用者が入力</b> ・推計方法 ・認定者数、介護サービス利用費数、給付費等の実績反映値 ・他推計員以外の標準給付費 ・地域別保険費率 ・予定保険料率等	<b>自動計算</b> 第7期保険料基準額 (自然増減計画/先見反映値)
--	--	--

推計名: ○○○○○○

実績値    経費反映値    給付費以外の費用    保険料基準額

.....

推計名: ○○○○○○

実績値    経費反映値等    給付費以外の費用    保険料基準額

50件まで保存可能

19

マニュアル  
W2-5ページ

### 将来推計機能の主な使い方

○推計データの取り扱い

「将来推計権限」を持ったユーザアカウントでログインした場合のみ使用することができます。

- 作成した推計データは、保険者内の「将来推計権限」を持ったユーザのみ参照できます。
- 作成された推計データは、作成したユーザのみ編集できます。他のユーザは閲覧のみ可能です。
- 他のユーザが作成した推計データを利用して別のユーザが推計を続けて行う場合は、当該推計データを別名保存して新たに推計データを作成します。
- 保存できる推計データは、1保険者あたり50件までです。
- 画面が変わったり保険料額を計算するたびに入力内容や計算結果が自動保存されます。

「将来推計」担当Aさん作成

「将来推計」担当Cさん作成

「将来推計」担当Bさん作成

将来推計担当の氏名	保存日時	保存したデータ
「将来推計」担当Aさん	2015/10/21 14:18	...
「将来推計」担当Cさん	2015/10/21 08:11	...
「将来推計」担当Aさん	2015/10/20 13:15	...
「将来推計」担当Aさん	2015/10/20 11:20	...

他のユーザが作成した推計データは参照して閲覧することができます。また、重複編集はできませんが、別データとして保存して流用することができます。

20

## 将来推計機能の主な使い方

マニュアル  
W2-6ページ

○将来推計機能におけるデータ入力方法  
数値入力を以下のような「表形式」の画面で行います。

	合計	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
第1号被保険者	16,620	2,450	1,968	3,661	2,976	2,046	1,981	1,538
65～69歳	1,443	163	211	232	315	184	167	163
70～74歳	2,362	253	324	549	414	293	290	239
75～79歳	3,272	474	383	755	567	363	383	342
80～84歳	4,175	704	453	657				
85～89歳	3,614	594	451	782				
90歳以上	1,754	256	144	366				

- ①入力したい箇所をマウスでクリックします。
- ②キーボードの数値キーを押して数値を入力します。

	合計	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
第1号被保険者	16,608	2,450	1,956	3,661	2,976	2,046	1,981	1,538
65～69歳	1,443	169	211	232	315	184	167	163
70～74歳	2,350	254	312	324	414	293	290	239
75～79歳	3,272	474	383	755	567	363	383	342
80～84歳	4,175	704	453	957				
85～89歳	3,614	594	451	782				
90歳以上	1,754	256	144	366				

- ③数値を入力した箇所は「ピンク色」の背景色に変わります。(変更されていることを表しています)
- ④変更前の数値を知りたいときは、その箇所にマウスカーソルを合わせることで吹き出しが表示されます。

## POINT

Excel等の表計算ソフトにコピーして貼り付けたり、表計算ソフトで作成した表の数値をまとめて画面上に貼り付けることも可能です。⇒詳細はマニュアルW2-8ページを参照してください。

21

## 目次

## 1. はじめに

- ・将来推計機能の概要
- ・将来推計機能を利用するための準備

## 2. 将来推計機能の使い方

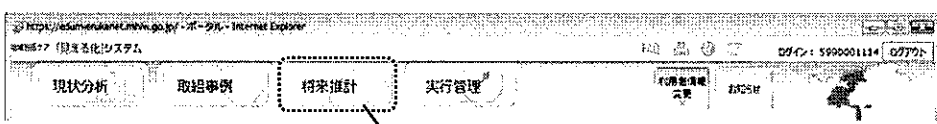
- ・将来推計の流れと主な使い方
- ・将来推計画面を表示する
- ・将来推計を始める
- ・推計に用いる実績値と推計方法を確認・設定する
- ・自然体推計値を確認する
- ・認定者数について施策反映する
- ・施設・居住系サービスの利用者数について施策反映する
- ・在宅サービス利用者数について施策反映する
- ・保険料額を算定する
- ・推計結果を確認する
- ・推計データを中断する／途中から始める

22

マニュアル  
W2-10ページ

### 将来推計画面を表示する

最初に将来推計画面を表示します。



ポータル画面上部の「将来推計」ボタンをクリックします。

**POINT**

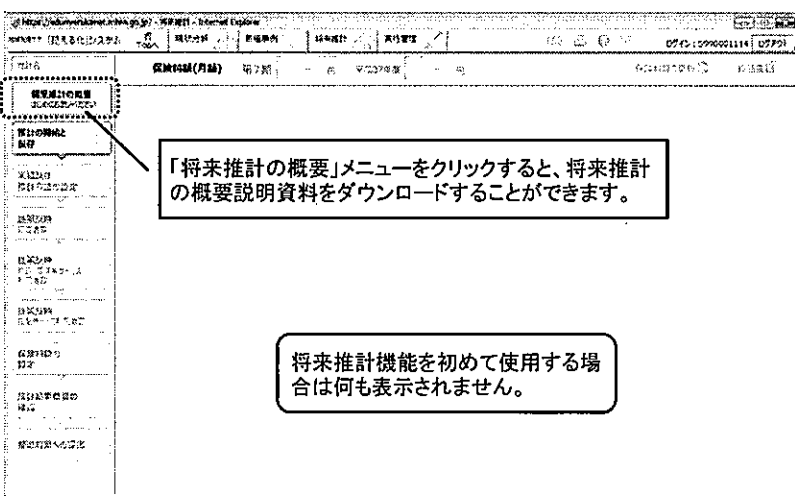
「将来推計」メニューは、「将来推計権限」を持ったユーザアカウントでログインした場合のみ画面に表示されます。お使いのユーザアカウントで「将来推計」メニューが表示されない場合は、組織内のアカウント管理者にお問い合わせください。

23

マニュアル  
W2-10ページ

### 将来推計画面を表示する

最初に将来推計画面を表示します。  
将来推計の概要説明資料のPDFファイルがダウンロードできるので、内容を確認してから将来推計を始めてください。



「将来推計の概要」メニューをクリックすると、将来推計の概要説明資料をダウンロードすることができます。

将来推計機能を初めて使用する場合は何も表示されません。

24

## 目次

## 1. はじめに

- ・将来推計機能の概要
- ・将来推計機能を利用するための準備

## 2. 将来推計機能の使い方

- ・将来推計の流れと主な使い方
- ・将来推計画面を表示する
- ・将来推計を始める
- ・推計に用いる実績値と推計方法を確認・設定する
- ・自然体推計値を確認する
- ・認定者数について施策反映する
- ・施設・居住系サービスの利用者数について施策反映する
- ・在宅サービス利用者数について施策反映する
- ・保険料額を算定する
- ・推計結果を確認する
- ・推計データを中断する／途中から始める

25

## 将来推計を始める

マニュアル  
W2-11ページ

将来推計を開始します。

新しい推計を始める場合は、推計に名前をつける必要があります。推計データは1保険者内で50件まで作成することができますので、他の推計と区別が付きやすい名前を設定してください。

①「推計の開始と保存」メニューをクリックします。

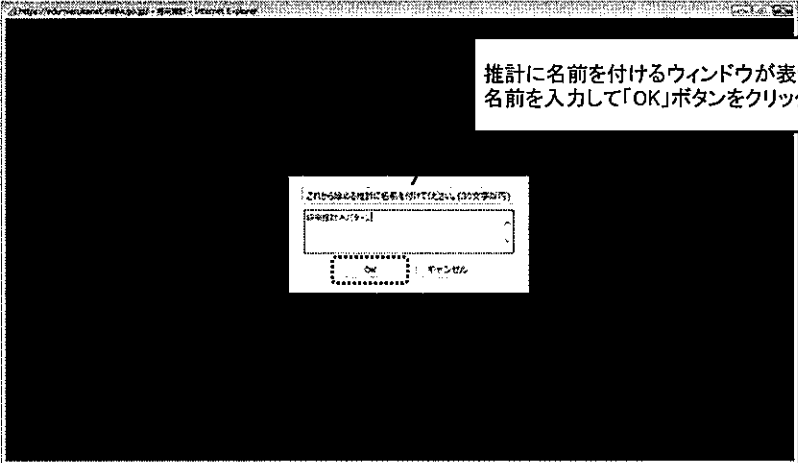
②「新しい推計を始める」をクリックします。

26

**将来推計を始める** マニュアル  
W2-12ページ

将来推計を開始します。  
新しい推計を始める場合は、推計に名前をつける必要があります。推計データは1保険者内で50件まで作成することができますので、他の推計と区別が付きやすい名前を設定してください。

推計に名前を付けるウィンドウが表示されます。  
名前を入力して「OK」ボタンをクリックします。

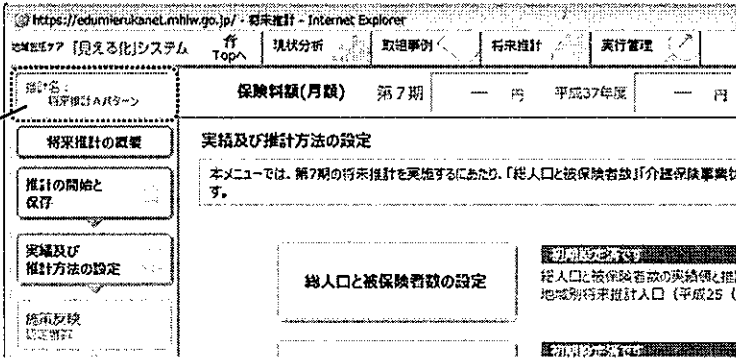


27

**将来推計を始める** マニュアル  
W2-12ページ

将来推計を開始します。  
新しい推計を始める場合は、推計に名前をつける必要があります。推計データは1保険者内で50件まで作成することができますので、他の推計と区別が付きやすい名前を設定してください。

入力した推計名はこちらに表示されます。



作成された推計データはログアウト後も「保存した推計から始める／推計を閲覧する」から確認・再開できます。  
また、現在操作している推計を別名で保存することも可能です。  
⇒詳細はマニュアルW2-125ページを参照してください。

28

目次

1. はじめに

- ・将来推計機能の概要
- ・将来推計機能を利用するための準備

2. 将来推計機能の使い方

- ・将来推計の流れと主な使い方
- ・将来推計画面を表示する
- ・将来推計を始める
- ・推計に用いる実績値と推計方法を確認・設定する
- ・自然体推計値を確認する
- ・認定者数について施策反映する
- ・施設・居住系サービスの利用者数について施策反映する
- ・在宅サービス利用者数について施策反映する
- ・保険料額を算定する
- ・推計結果を確認する
- ・推計データを中断する／途中から始める

総人口と被保険者数の確認

マニュアル  
W2-13ページ

保険料額の自然体推計値を算出するために使用する実績値と推計方法を確認します。

①総人口と被保険者数を確認してみましょう。

マニュアル W2-13ページ

### 総人口と被保険者数の確認

保険料額の自然体推計値を算出するために使用する実績値と推計方法を確認します。  
 ①総人口と被保険者数を確認してみましょう。

確認後は「メニューに戻る」ボタンをクリックして「実績及び推計方法の設定」画面に戻ります

推計に用いる総人口と被保険者数のデータが表示されます。

**POINT**

「日本の地域別将来推計人口」のデータを使用せずに、独自データを入力して推計に使用することができます。 ⇒詳細はマニュアルW2-16ページを参照してください。

31

マニュアル W2-22ページ

### 介護保険事業状況報告の設定の確認

保険料額の自然体推計値を算出するために使用する実績値と推計方法を確認します。  
 ②介護保険事業状況報告の設定を確認してみましょう。

「介護保険事業状況報告の設定」ボタンをクリックします。

32



マニュアル  
W2-22ページ

### 介護保険事業状況報告の設定の確認

②介護保険事業状況報告の設定を確認してみましょう。  
どの時点の介護保険事業状況報告の年報または月報を適用するかを確認します。

**POINT**

平成29年4月に公開されるバージョンから介護保険事業状況報告の設定を変更可能となります。  
※試行版では変更できません。

33

マニュアル  
W2-26ページ

### 推計方法の確認

保険料額の自然体推計値を算出するために使用する実績値と推計方法を確認します。  
③推計方法を確認してみましょう。

**POINT**

設定された内容で行政手続上で自然体推計値を算出します。  
自然体推計値の計算に使用する保険料額等の費用高(所得控除別加入者数、標準給付費以外の費用等)については、第5期介護保険事業計画ワークシートとの値を参照します。

34

マニュアル  
W2-26ページ

### 推計方法の確認

③推計方法を確認してみましょう。  
自然体推計に使用する実績値および変化量を設定・確認します。

設定後は「メニューに戻る」ボタンをクリックして「実績及び推計方法の設定」画面に戻ります。

推計に用いる実績値や伸びを設定します。

35

マニュアル  
W2-26ページ

### 推計方法の確認

③推計方法を確認してみましょう。  
自然体推計に使用する実績値および変化量を設定・確認します。

**POINT**

リストボックスから使用する実績値や伸びを選択することができます。  
初期値として直近の伸びや実績値が設定されています。

POINT

リストボックスから使用する実績値や伸びを選択することができます。  
初期値として直近の伸びや実績値が設定されています。

使用したい実績値や伸びを選択してください。

「参考」ボタンをクリックすると、それぞれの実績値や伸びを選択するための参考情報を見ることができます。

表示させたい情報をクリックすると該当するデータを別画面で表示します。

36

目次

1. はじめに

- ・将来推計機能の概要
- ・将来推計機能を利用するための準備

2. 将来推計機能の使い方

- ・将来推計の流れと主な使い方
- ・将来推計画面を表示する
- ・将来推計を始める
- ・推計に用いる実績値と推計方法を確認・設定する
- ・**自然体推計値を確認する**
- ・認定者数について施策反映する
- ・施設・居住系サービスの利用者数について施策反映する
- ・在宅サービス利用者数について施策反映する
- ・保険料額を算定する
- ・推計結果を確認する
- ・推計データを中断する／途中から始める

**自然体推計値を確認する**

マニュアル  
W2-33ページ

設定した推計方法を元に保険料額の自然体推計値を算出します。

38

**自然体推計値を確認する** マニュアル  
W2-33ページ

設定した推計方法を元に保険料額の自然体推計値を算出します。

既定された内容で保険料額の自然体推計値を計算します。よろしいですか？

(自費事項)  
自然体推計値の計算に使用する保険料は継続中の費用等(所増増減別加入割合、標準に付帯以外の費用等)については、第6期ワークシートの数値を利用します。第7期の第7期が補填料額の出る必要となる費用は、長良泉病院に入力を行います。

確認画面が表示されます。  
「OK」ボタンをクリックします。

**自然体推計値を確認する** マニュアル  
W2-35ページ

設定した推計方法を元に保険料額の自然体推計値を算出します。

保険料額の自然体推計結果が表示されています。

(1) 期	合計	普及型1	普及型2	算出値1	算出値2	算出値3	算出値4	算出値5
第1号標準算出	4,618	494	462	227	219	501	428	358
65~69歳	329	26	47	20	26	46	43	24
70~74歳	363	21	45	93	124	24	71	56
75~79歳	437	26	22	150	158	35	55	69
80~84歳	597	145	117	294	197	126	111	94
85~89歳	822	115	199	316	166	131	94	104

「認定者数の施策反映」の画面が表示されます。

この時点での保険料額の算出には、一部の費用について第6期介護保険事業計画の計画値を用いています。第7期の数値は施策反映後の「保険料額の算定」メニューにて入力することになります。

40

目次

1. はじめに

- ・将来推計機能の概要
- ・将来推計機能を利用するための準備

2. 将来推計機能の使い方

- ・将来推計の流れと主な使い方
- ・将来推計画面を表示する
- ・将来推計を始める
- ・推計に用いる実績値と推計方法を確認・設定する
- ・自然体推計値を確認する
- ・認定者数について施策反映する
- ・施設・居住系サービスの利用者数について施策反映する
- ・在宅サービス利用者数について施策反映する
- ・保険料額を算定する
- ・推計結果を確認する
- ・推計データを中断する／途中から始める

マニュアル  
W2-40ページ

### 認定者数の自然体推計値の確認

要介護(支援)認定者数の施策反映を行います。  
①認定者数の自然体推計値を確認してみましょう

平成30年度の認定者数の自然体推計値が初期表示されます。

性別	合計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5		
男	4,018	484	462	827	818	551	488	358
女	3,299	26	47	29	78	46	49	24
65～69歳	329	26	47	29	78	46	49	24
70～74歳	363	71	65	53	129	29	71	56
75～79歳	624	79	22	150	108	95	65	69
80～84歳	987	149	113	194	197	126	131	96
85～89歳	888	115	109	210	186	101	99	86

第6期(平成27年度)以降の推移が確認できます。

### 認定者数の自然体推計値の確認

マニュアル W2-40ページ

①設定者数の自然体推計値を確認してみましょう  
他の年度を確認したい場合はリストボックスから選択します。

年齢区分	合計	第1号特例措置	第1号特例措置以外	第1号特例措置以外	第1号特例措置以外	第1号特例措置以外	第1号特例措置以外	第1号特例措置以外
65～69歳	329	26	47	70	76	46	40	24
70～74歳	563	71	55	93	128	79	71	56
75～79歳	632	76	77	150	169	95	65	66
80～84歳	987	145	113	154	187	126	131	95
85～89歳	886	115	109	210	189	101	99	69
合計	4,018	484	452	627	518	501	483	358

43

### 施策反映値の入力

マニュアル W2-41ページ

要介護(支援)認定者数の施策反映を行います。  
②施策反映値を入力してみましょう。  
グラフエリアは表示/非表示を切り替えることができます。

年齢区分	合計	施策反映1	施策反映2	第1号特例措置	第1号特例措置以外	第1号特例措置以外	第1号特例措置以外	第1号特例措置以外
65～69歳	329	26	47	70	76	46	40	24
70～74歳	563	71	55	93	128	79	71	56
75～79歳	632	76	77	150	169	95	65	66
80～84歳	987	145	113	154	187	126	131	95
85～89歳	886	115	109	210	189	101	99	69
合計	4,018	484	452	627	518	501	483	358

44

**施策反映値の入力**

マニュアル  
W2-41ページ

②施策反映値を入力してみましょう。  
グラフエリアは表示／非表示を切り替えることができます。表全体を表示したい場合はグラフを非表示にしてください。

認定者数の精算反映 参考項目 認定者数反映へ

自然体推計された要介護(要介護)認定者数について、第7期期間中に施策の効果として見込まれる値を入力してください。

平成30年度(補正額) 自然体推計に全て戻す

(1) 男 単位：人

	合計	要介護1	要介護2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
第1号被保険者	4,018	484	462	827	818	581	488	358
65～69歳	329	26	47	70	76	46	40	24
70～74歳	563	71	65	93	128	79	71	56
75～79歳	632	76	72	150	105	95	65	66
80～84歳	987	140	113	194	187	126	131	96
85～89歳	888	115	109	210	186	101	99	68
90歳以上	619	56	56	110	133	134	82	48

(2) 女 単位：人

	合計	要介護1	要介護2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
第1号被保険者	9,243	1,091	1,037	1,461	1,434	1,132	1,077	1,011
65～69歳	234	27	39	59	37	31	19	22
70～74歳	518	96	80	94	93	61	42	52
75～79歳	762	172	111	133	112	87	71	76
80～84歳	2,078	400	326	416	334	215	212	175
85～89歳	2,114	262	302	414	373	280	263	229
90歳以上	2,537	134	179	345	485	458	470	466

(3) 合計 単位：人

	合計	要介護1	要介護2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
第1号被保険者	12,261	1,575	1,499	2,288	2,252	1,713	1,565	1,369

このアイコンをクリックするとグラフエリアを再表示します

45

**施策反映値の入力**

マニュアル  
W2-41ページ

②施策反映値を入力してみましょう。  
自然体推計された認定者数に対して、施策の効果として見込まれる施策反映値を入力してください。

認定者数の精算反映 参考項目 認定者数反映へ

自然体推計された要介護(要介護)認定者数について、第7期期間中に施策の効果として見込まれる値を入力してください。

平成30年度(補正額) 自然体推計に全て戻す

セルに値を入力します。

(1) 男 単位：人

	合計	要介護1	要介護2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
第1号被保険者	4,027	402	462	827	818	581	488	358
65～69歳	338	35	47	70	76	46	40	24
70～74歳	563	71	65	93	128	79	71	56
75～79歳	632	76	72	150	105	95	65	66
80～84歳	987	140	113	194	187	126	131	96
85～89歳	888	115	109	210	186	101	99	68
90歳以上	619	56	56	110	133	134	82	48

(2) 女 単位：人

	合計	要介護1	要介護2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
第1号被保険者	9,243	1,091	1,037	1,461	1,434	1,132	1,077	1,011
65～69歳	234	27	39	59	37	31	19	22
70～74歳	518	96	80	94	93	61	42	52
75～79歳	762	172	111	133	112	87	71	76
80～84歳	2,078	400	326	416	334	215	212	175
85～89歳	2,114	262	302	414	373	280	263	229
90歳以上	2,537	134	179	345	485	458	470	466

自然体推計値に戻したい場合にクリックしてください。

**PONT**

施策反映値の入力は「平成30年度」「平成31年度」「平成32年度」「平成37年度」の4つ年度があります。画面左上のリストボックスから各年度の表を表示して全て入力してください。

46

グラフの確認

マニュアル  
W2-44ページ

③グラフを確認してみましょう

入力した内容を確認しながら、グラフで実績値、自然体推計値及び施策反映値の推移を確認することができます。

認定者数の施策反映

自然体推計値と要介護(支援)認定者数について、第7期開始中に施策の効果として見込まれる値を入力してください。

下部のメニュー(選択後)

自然体推計に全て戻す

(1) 男

	合計	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
第1号認定者数	3,819	459	439	787	778	552	463	341
65~69歳				72	44		38	23
70~74歳				122	75		67	53
75~79歳				103	90		62	63
80~84歳				178	120		124	91
85~89歳	845	109	104	200	177		96	
90歳以上	588	53	53	109	126		127	

①「グラフに入力値を反映」ボタンをクリックします。

②入力されたデータがグラフに反映されます。

グラフ入力値も反映

第1号認定者数の要介護(支援)認定率、認定者数

47

参考情報の確認

マニュアル  
W2-45ページ

④参考情報を見てみましょう

「参考情報」ボタンから、関連する実行管理指標およびその他の関連データを参照できます。

認定者数の施策反映

自然体推計値と要介護(支援)認定者数について、第7期開始中に施策の効果として見込まれる値を入力してください。

下部のメニュー(選択後)

自然体推計に全て戻す

(1) 男

	合計	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
第1号認定者数	3,819	459	439	787	778	552	463	341
65~69歳	314	25	45	67	72	44	38	23

「参考情報」ボタンをクリックします。

参考情報

次期施策反映へ

関連する実行管理指標を見る

施策反映後の要介護(支援)認定率

認定者数の構成比の実績および施策反映後推計値

自然体推計に全て戻す

参照したいデータ名をクリックします。

選択したデータが別画面で表示されます。

48



**施策反映後の保険料額の算出** マニュアル  
W2-46ページ

⑤施策反映後の保険料額を算出してみましょう  
 認定者数について「平成30年度～平成37年度」まで施策反映値を入力したら、施策反映後の保険料額を更新して確認することができます。

**「保険料額の更新」ボタンをクリックします。**

年齢区分	合計	費控額1	費控額2	費介額1	費介額2	費介額3	費介額4	費介額5
第1号認定者	3,819	459	439	787	778	552	463	341
65～69歳	314	25	45	67	72	44	38	23
70～74歳	534	67	62	88	122	75	67	53
75～79歳	601	72	68	143	103	90	62	63
80～84歳	937	133	107	164	178	120	124	91
85～89歳	845	109	104	200	177	96	94	65

第1号認定者の費介額（費控）認定者、認定者数

49

**施策反映後の保険料額の算出** マニュアル  
W2-46ページ

⑤施策反映後の保険料額を算出してみましょう

**入力された施策反映値を元に算出された保険料額が表示されます。自然体推計値との差額を確認できます。**

年齢区分	合計	費控額1	費控額2	費介額1	費介額2	費介額3	費介額4	費介額5
第1号認定者	3,819	550	439	787	778	552	453	341
65～69歳	314	25	45	67	72	44	38	23
70～74歳	534	67	62	88	122	75	67	53
75～79歳	601	72	68	143	103	90	62	63
80～84歳	937	133	107	164	178	120	124	91
85～89歳	845	109	104	200	177	96	94	65

第1号認定者の費介額（費控）認定者、認定者数

**POINT**  
 保険料額表示エリアの構成を説明します。

保険料額(月額) 第7期 **5,211円** (14,070円)      平成37年度 **5,895円** (14,070円)  
 算出された保険料額      保険料額の自然体推計値との差額

50

**施策反映の経緯の記録** マニュアル W2-48ページ

⑥ 施策反映の経緯を記録して次へ進みましょう  
 施策反映値の入力が一通り終わりましたら、「次の施策反映へ」をクリックして「施設・居住系サービス利用者数」の施策反映へ移ります。

「次の施策反映へ」ボタンをクリックします。

	合計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	要介護6
第1号給付対象者	3,419	457	439	787	778	552	455
65～69歳	314	25	45	57	72	44	38
70～74歳	534	67	62	88	122	75	67
75～79歳	624	72	58	143	103	90	62
80～84歳	937	123	107	184	178	130	91
85～89歳	845	107	104	200	177	66	94

第1号給付対象者の要介護（全国）推定率、推定数値

51

**施策反映の経緯の記録** マニュアル W2-48ページ

⑥ 施策反映の経緯を記録して次へ進みましょう  
 施策反映の経緯を画面から登録します。

自然体推計に用いた伸びと推計方法が表示されます。

① 施策反映の経緯を入力します。

「次の施策反映へ」ボタンをクリックします。

② 「保険料額を計算する」ボタンをクリックします。

**施策反映の経緯の記録** マニュアル W2-48ページ

**⑥施策反映の経緯を記録して次へ進みましょう**

施策反映値のチェック結果をダウンロードしてください。  
(マニュアルW2-51ページを参照)

「次へ進む」をクリックします。

**POINT**

施策反映値のワーニングチェックシートは必ずダウンロードしてください。  
入力した施策反映値に異常値が無いかを確認することができます。

53

**施策反映の経緯の記録** マニュアル W2-48ページ

**⑥施策反映の経緯を記録して次へ進みましょう**

要介護(支援)認定者数の施策反映後の保険料額が表示されます。

「施設・居住系サービス利用者数の施策反映」の画面が表示されます。

「施策反映 施設・居住系サービス利用者数」のメニューが選択されています

	合計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
H30:特定施設入居者生活介護	1,152	48	45	191	239	192
現在分・生活費徴分	1,152	48	45	191	239	192
介護費徴分の転換分	0	0	0	0	0	0
H31:特定施設入居者生活介護	1,225	52	47	203	220	192
現在分・介護費徴分	1,225	52	47	203	220	192
介護費徴分の転換分	0	0	0	0	0	0

54

目次

1. はじめに

- ・将来推計機能の概要
- ・将来推計機能を利用するための準備

2. 将来推計機能の使い方

- ・将来推計の流れと主な使い方
- ・将来推計画面を表示する
- ・将来推計を始める
- ・推計に用いる実績値と推計方法を確認・設定する
- ・自然体推計値を確認する
- ・認定者数について施策反映する
- ・施設・居住系サービスの利用者数について施策反映する
- ・在宅サービス利用者数について施策反映する
- ・保険料額を算定する
- ・推計結果を確認する
- ・推計データを中断する／途中から始める

自然体推計値の確認

施設・居住系サービス利用者数の施策反映を行います。

①自然体推計値を確認してみましょう

他のサービス種類を選択したい場合はリストボックスをクリックします。

サービス種類別に、第7期と平成37年度の自然体推計値を確認できます。

第6期以降の推移が確認できます。

	合計	第7期1	第7期2	第7期3	第7期4	第7期5	第7期6
H30 特定施設入居者生活介護	利用見込み人数 1,152	48	45	191	239	217	220
	現在分・今後見込み 1,152	48	45	191	239	217	220
	介護費からの転落分 0	0	0	0	0	0	0
H31 特定施設入居者生活介護	利用見込み人数 1,225	52	47	203	254	231	224
	現在分・今後見込み 1,225	52	47	203	254	231	224
	介護費からの転落分 0	0	0	0	0	0	0

マニュアル W2-59ページ

### 施策反映値の入力

②施策反映値を入力してみましょう  
 自然体推計された施設・居住系サービス利用者数に対して、施策の効果として見込まれる施策反映値を入力してください。

施設・居住系サービス利用者数の施策反映

自然体推計された施設・居住系サービスの利用者数について、平均年齢を算出するための施策反映値として見込まれる値を入力してください。

施設タイプ: 居宅サービス

自然体推計に全て戻す

		合計	策支援1	策支援2	策介種1	策介種2	策介種3	策介種4	策介種5	
H30	特定施設入居者生活介護	利用見込み人数	1,152	48	45	191	239	217	220	192
		現在分・今後整備分	1,152	48	45	191	239	217	220	192
		介護療養からの転換分	0	0	0	0	0	0	0	0
H31	特定施設入居者生活介護	利用見込み人数	1,225	52	47	203	254	231	234	204
		現在分・今後整備分	1,225	52	47	203	254	231	234	204
		介護療養からの転換分	0	0	0	0	0	0	0	0

施策反映値を「現在分・今後整備分」と「介護療養からの転換分」それぞれに入力してください。

グラフに入力値を反映 居宅サービス 特定施設入居者生活介護

グラフエリアを非表示にして表エリアを拡大できます。

57

マニュアル W2-59ページ

### 施策反映値の入力

②施策反映値を入力してみましょう  
 自然体推計された施設・居住系サービス利用者数に対して、施策の効果として見込まれる施策反映値を入力してください。

施設・居住系サービス利用者数の施策反映

自然体推計された施設・居住系サービスの利用者数について、平均年齢を算出するための施策反映値として見込まれる値を入力してください。

施設タイプ: 居宅サービス

自然体推計に全て戻す

		合計	策支援1	策支援2	策介種1	策介種2	策介種3	策介種4	策介種5	
H30	特定施設入居者生活介護	利用見込み人数	1,144	47	44	193	237	215	219	189
		現在分・今後整備分	1,144	47	44	199	237	215	219	189
		介護療養からの転換分	0	0	0	0	0	0	0	0
H31	特定施設入居者生活介護	利用見込み人数	1,216	51	47	204	251	228	231	202
		現在分・今後整備分	1,216	51	47	202	253	228	231	202
		介護療養からの転換分	0	0	0	0	0	0	0	0
H32	特定施設入居者生活介護	利用見込み人数	1,289	54	50	216	259	242	245	214
		現在分・今後整備分	1,287	54	50	214	258	242	245	214
		介護療養からの転換分	2	0	0	2	0	0	0	0
H37	特定施設入居者生活介護	利用見込み人数	1,604	67	61	267	319	292	295	264
		現在分・今後整備分	1,602	67	61	265	317	290	293	262
		介護療養からの転換分	2	0	0	2	0	0	0	0

施策反映値を入力(自然体推計から変更)した箇所はピンク色に表示されます。

リストボックスから選択し、全てのサービスを確認してください。

**Point**

- 施設・居住系サービスの施策反映画面では、「居宅サービス」「地域密着型サービス」「施設サービス」ごとに表示されます。画面左上のリストボックスから選択し、全てのサービスを確認して施策反映値を入力してください。
- 施策反映値の入力を中断したい場合は、推計データの保存を行ってください。  
⇒マニュアルW2-123ページを参照。
- 「自然体推計に全て戻す」ボタンをクリックすると、入力した施策反映値が全て自然体推計値に戻ります。  
⇒マニュアルW2-43ページを参照。

58

### グラフの確認

マニュアル W2-61ページ

**③グラフを確認してみましょう**  
 入力した内容を確認しながら、グラフで実績値、自然体推計値及び施策反映値の推移を確認することができます。グラフエリアのリストボックスから見たいサービスを選択してください。

施設・居住系サービス利用者数の権限反映

自然体推計された施設・居住系サービスの利用者数について、平成30年度以降に発生の変更として更新される値を入力してください。

施設サービス: 介護老人福祉施設 自然体推計に全て戻す

		合計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
介護老人福祉施設	利用見込み人数	800	13	50	139	306	292
	現在分・今後推計分	800	13	50	139	306	292
H30 介護老人福祉施設	利用見込み人数	319	23	59	89	86	62
	現在分・今後推計分	319	23	59	89	86	62
介護施設のみ人数		0	0	0	0	0	0
合計		1119	13	109	228	392	292

①リストボックスからサービス名を選択してください。

グラフに入力値を反映 施設サービス 介護老人福祉施設

②グラフが変更されます。

59

### 参考情報の確認

マニュアル W2-62ページ

**④参考情報を見てみましょう。**  
 「参考情報」ボタンから、関連する実行管理指標およびその他の関連データを参照できます。

施設・居住系サービス利用者数の権限反映

自然体推計された施設・居住系サービスの利用者数について、平成30年度以降に発生の変更を入力してください。

施設サービス: 介護老人福祉施設 自然体推計に全て戻す

		合計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
利用見込み人数		800	13	50	139	306	292

「参考情報」ボタンをクリックします

参照したいデータ名をクリックします。

参考情報 次の権限反映へ

関連する実行管理指標を見る

設定画面に占める施設・居住系サービス利用者数

表とグラフが表示されます。施策反映入力に戻る場合は、再度「参考情報」ボタンから「施策反映 施設・居住系サービス利用者数」を選択してください。

60

### 施策反映後の保険料額の計算

マニュアル  
W2-64ページ

⑤ 施策反映後の保険料額を計算してみましょう  
施策反映値を入力すると、保険料額を更新して確認することができます。

「保険料額の更新」ボタンをクリックします

確認・居住系サービス利用費額の増減反映

自然体推計された増減・居住系サービスの利用費額について、平成30年度以降に施策の効果が現れて何らかれを値を入力していただきます。

※GWサービス

		合計	策反映1	策反映2	策介値1	策介値2	策介値3	策介値4	策介値5
H30 特定増入居者生活介護	利用開始人数	1,144	47	44	192	237	215	219	189
	現在分・今後推計分	1,141	47	44	190	237	215	219	189
	介護費額からの転換分	3	0	0	0	0	0	0	0
H31 特定増入居者生活介護	利用開始人数	1,216	51	47	204	253	228	231	202
	現在分・今後推計分	1,214	51	47	202	253	228	231	202
	介護費額からの転換分	2	0	0	2	0	0	0	0

グラフ入力履歴表 策介サービス 特定増入居者生活介護

61

### 施策反映後の保険料額の計算

マニュアル  
W2-64ページ

⑤ 施策反映後の保険料額を計算してみましょう  
施策反映値を入力すると、保険料額を更新して確認することができます。

入力された施策反映値を元に算出された保険料額が表示されます。  
自然体推計値との差額も確認できます。

確認・居住系サービス利用費額の増減反映

自然体推計された増減・居住系サービスの利用費額について、平成30年度以降に施策の効果が現れて何らかれを値を入力していただきます。

※GWサービス

		合計	策介値1	策介値2	策介値3	策介値4	策介値5
H37 介護老人福祉施設	利用開始人数	355	25	65	27	20	70
	現在分・今後推計分	355	25	65	27	20	70
	介護費額からの転換分	0	0	0	0	0	0
転換施設	利用開始人数	89	0	7	5	17	66
	現在分・今後推計分	89	0	7	5	17	66
	介護費額からの転換分	0	0	0	0	0	0

グラフ入力履歴表 策介サービス 介護老人福祉施設

62

**施策反映の経緯の記録** マニュアル  
W2-66ページ

⑥施策反映の経緯を記録して次へ進みましょう  
「次の施策反映へ」をクリックして「在宅サービス利用者数」の施策反映へ移ります。

施策反映の経緯	合計	割合1	割合2	割合3	割合4	割合5	割合6	割合7
認知症対応型共同生活介護	183	0	0	16	35	65	45	27
認知症対応型共同生活介護	183	0	0	16	35	65	45	27
介護療養型医療施設	0	0	0	0	0	0	0	0
認知症対応型共同生活介護	0	0	0	0	0	0	0	0
地域密着型サービス	0	0	0	0	0	0	0	0
施設サービス	0	0	0	0	0	0	0	0

63

**施策反映の経緯の記録** マニュアル  
W2-66ページ

⑥施策反映の経緯を記録して次へ進みましょう  
施策反映の経緯を画面から登録します。

自然体推計に用いた伸びが表示されます。

「在宅サービス」「地域密着型サービス」「施設サービス」について、それぞれ施策反映の経緯を入力してください。

「保険料額を計算する」ボタンをクリックします。

64



**施策反映の経緯の記録** マニュアル  
W2-66ページ

⑥施策反映の経緯を記録して次へ進みましょう

チェック結果をダウンロードしてください。

「次へ進む」ボタンをクリックします。

**POINT**

施策反映値のワーニングチェックシートは必ずダウンロードしてください。  
入力した施策反映値に異常値が無いかを確認することができます。

65

**施策反映の経緯の記録** マニュアル  
W2-66ページ

⑥施策反映の経緯を記録して次へ進みましょう

施設・居住系サービス利用者数の施策反映後の保険料額が表示されます。

「施設・居住系サービス利用者数」メニューが選択されます。

	策反映1	策反映2	策反映3	策反映4	策反映5
H27	33.3	31.4	24.1	42.0	43.7
H28	23.1	31.1	33.2	41.3	42.8
H29	23.1	30.9	29.4	40.7	42.2
H30	—	—	23.1	49.1	41.5
H31	—	—	22.8	39.6	40.9
H32	—	—	22.5	28.0	40.3
H37	—	—	31.1	36.2	37.3

	合計	策反映1	策反映2	策反映3	策反映4	策反映5
H27	3,352	339	436	659	739	494
H28	3,397	344	441	668	749	501
H29	3,445	349	448	677	759	508
H30	2,681	—	—	661	740	475
H31	2,595	—	—	666	746	499
H32	2,605	—	—	671	752	501
H37	2,688	—	—	716	780	512

66

目次

1. はじめに

- ・将来推計機能の概要
- ・将来推計機能を利用するための準備

2. 将来推計機能の使い方

- ・将来推計の流れと主な使い方
- ・将来推計画面を表示する
- ・将来推計を始める
- ・推計に用いる実績値と推計方法を確認・設定する
- ・自然体推計値を確認する
- ・認定者数について施策反映する
- ・施設・居住系サービスの利用者数について施策反映する
- ・在宅サービス利用者数について施策反映する
- ・保険料額を算定する
- ・推計結果を確認する
- ・推計データを中断する／途中から始める

マニュアル  
W2-78ページ

### 自然体推計値の確認

在宅サービス利用者数の施策反映を行います。  
①自然体推計値を確認してみましょう

他のサービスを選択したい場合はリストボックスをクリックします。

在宅サービスの施策反映では、「利用率」が上段に、「利用者数」が下段に表示されています。

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
H27	23.3	31.4	34.1	42.0	43.7
H28	23.1	31.1	33.7	41.3	42.8
H29	23.1	30.5	33.4	40.7	42.2
H30	—	—	33.1	40.1	41.5
H31	—	—	32.8	39.6	40.9
H32	—	—	32.5	39.0	40.3
H37	—	—	31.1	36.2	37.3

	合計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
H27	3,352	339	436	659	739	454
H28	3,397	344	481	660	749	591
H29	3,445	349	448	677	759	591
H30	2,581	—	—	661	740	495
H31	2,595	—	—	666	746	499
H32	2,695	—	—	671	752	501
H37	2,638	—	—	718	780	512

### 施策反映値の入力

マニュアル  
W2-79ページ

②施策反映値を入力してみましょう  
 施策の効果として見込まれる施策反映値を入力してください。「利用率」に対して施策反映値を入力して利用者数を算出する方法と、「利用者数」に対して直接施策反映値を入力する方法があります。

「在宅サービス利用率」(上段)について施策反映値を入力します。初期設定はこちらの方法です。

「利用者数で施策反映する」ボタンをクリックすると、「在宅サービス利用者数」が上段に切り替わり、「利用者数」に対して施策反映値が入力できます。

↓

「在宅サービス利用者数」(下段)の数値も自動的に更新されます。

### グラフの確認

マニュアル  
W2-82ページ

③グラフを確認してみましょう。  
 入力した内容を確認しながら、グラフで実績値、自然体推計値及び施策反映値の推移を確認することができます。

在宅サービスの利用者数の施策反映

自然体推計された在宅サービスの利用者または利用者数について、平成30年度以降に施策の効果として見込まれる値を入力してください。

自然体推計 利用者数で施策反映する 自然体推計に全て戻す

入力:在宅サービス利用率 単位: %

	実績値1	実績値2	推計値1	推計値2	推計値3	推計値4	推計値5
H27	23.3	31.4	34.1	42.0	43.7	44.1	49.4
H28	23.1	31.1	33.7	41.3	42.8	42.5	47.1
H29	23.1	30.9	33.5	40.7	42.2	41.6	45.9
H30	—	—	30.5	38.1	39.4	38.6	41.6
H31	—	—	31.2	37.6	38.9	37.7	40.5
H32	—	—	30.9	37.1	38.3	36.8	39.0
H37	—	—	29.5	34.4	35.4	33.1	35.1

↓

【自動計算】在宅サービス利用者数 (在宅サービス対象者数×利用率) 単位:人/月

	合計	実績値1	実績値2	推計値1	推計値2	推計値3	推計値4	推計値5
H27	3,352	339	436	659	739	494	357	327
H28	3,397	344	441	668	749	501	362	332
H29	3,445	349	448	677	759	508	367	337
H30	2,433	—	—	609	703	470	339	312
H31	2,468	—	—	634	769	474	240	311
H32	2,478	—	—	638	—	—	—	—
H37	2,553	—	—	681	—	—	—	—

このアイコンをクリックします。グラフエリアが表示され、自動計算の表が非表示になります。

### グラフの確認

マニュアル W2-82ページ

③グラフを確認してみましょう。  
 入力した内容を確認しながら、グラフで実績値、自然体推計値及び施策反映値の推移を確認することができます。

在宅サービスの利用者数の確認反映

自然体推計された在宅サービスの利用者または利用者数について、平成30年度以降に施策の効果として見込まれる値を入力してください。

【自然体推計】 利用数値で施策反映する 自然体推計に全て戻す

【入力】在宅サービス利用者率 単位：%

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
H27	23.3	31.4	34.1	42.0	43.7	44.1	49.4
	31.1	33.7	41.3	42.8	42.5	47.1	
	30.9	33.4	40.7	42.2	41.6	45.5	
		30.5	38.1	39.4	38.6	41.8	
		31.2	37.6	38.9	37.7	40.5	
		30.9	37.1	38.3	36.8		

①「グラフに入力値を反映」ボタンをクリックします。

②グラフに上段で設定した「利用者数」の値が反映されます。

### 参考情報の確認

マニュアル W2-84ページ

④参考情報を見てみましょう  
 「参考情報」ボタンから、関連する実行管理指標およびその他の関連データを参照できます。

在宅サービスの利用者数の確認反映

自然体推計された在宅サービスの利用者または利用者数について、平成30年度以降に施策の効果として見込まれる値を入力してください。

【自然体推計】 利用数値で施策反映する 自然体推計に全て戻す

【入力】在宅サービス利用者率 単位：%

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
H27	23.3	31.4	34.1	42.0	43.7	44.1	49.4

「参考情報」ボタンをクリックします。

参照したいデータ名をクリックします。

表とグラフが表示されます。施策反映入力に戻る場合は、「参考情報」ボタンから「施策反映 在宅サービス利用者数」を選択してください

**施策反映後の保険料額の計算**

マニュアル  
W2-86ページ

⑤ 施策反映後の保険料額を計算してみましょう。  
施策反映値を入力すると、保険料額を更新して確認することができます。

保険料額(月額) 第7期 5,136円 (2,609円) 平均7年度 6,457円 (3,233円)

住宅サービスの利用者数別の保険反映

自然体推計された住宅サービスの利用者数は利用者数に基づいて、平成30年度以降に建築の完成として見込まれる額を入力してください。

「保険料額の更新」ボタンをクリックします。

	要介護1	要介護2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
H27	23.3	31.4	34.1	42.0	43.7	44.1	49.1
H28	23.1	31.1	32.7	41.3	42.8	42.5	47.1
H29	25.1	30.9	32.4	40.7	42.2	41.6	45.5
H30	—	—	30.5	38.1	39.4	38.6	41.8
H31	—	—	31.2	37.6	38.9	37.7	40.5
H32	—	—	30.9	37.1	38.3	36.8	39.0
H37	—	—	29.5	34.4	35.4	33.1	35.1

	合計	要介護1	要介護2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
H27	3,352	339	436	659	739	494	357	327
H28	3,397	344	441	668	749	501	362	332
H29	3,445	349	448	677	759	508	367	337
H30	2,433	—	—	609	703	470	330	312
H31	2,468	—	—	634	709	474	340	311
H32	2,478	—	—	638	715	476	340	308
H37	2,553	—	—	681	741	486	339	306

**施策反映後の保険料額の計算**

マニュアル  
W2-86ページ

⑤ 施策反映後の保険料額を計算してみましょう。  
施策反映値を入力すると、保険料額を更新して確認することができます。

保険料額(月額) 第7期 5,109円 (2,619円) 平均7年度 6,421円 (3,233円)

住宅サービスの利用者数別の保険反映

自然体推計された住宅サービスの利用者数は利用者数に基づいて、平成30年度以降に建築の完成として見込まれる額を入力してください。

入力された施策反映値を元に算出された保険料額が表示されます。  
自然体推計値との差額を確認できます。

	要介護1	要介護2	要介護1	要介護2
H27	23.3	31.4	34.1	42.0
H28	23.1	31.1	32.7	41.3
H29	25.1	30.9	32.4	40.7
H30	—	—	30.5	38.1
H31	—	—	31.2	37.6
H32	—	—	30.9	37.1
H37	—	—	29.5	34.4

	合計	要介護1	要介護2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
H27	3,352	339	436	659	739	494	357	327
H28	3,397	344	441	668	749	501	362	332
H29	3,445	349	448	677	759	508	367	337
H30	2,433	—	—	609	703	470	330	312
H31	2,468	—	—	634	709	474	340	311
H32	2,478	—	—	638	715	476	340	308
H37	2,553	—	—	681	741	486	339	306

**施策反映の経緯の登録** マニュアル W2-88ページ

⑥ 施策反映の経緯を登録して次へ進みましょう  
「保険料額の算定へ」をクリックして、総給付費以外の必要な費用の入力に移ります。

**「保険料額の算定へ」ボタンをクリックします。**

75

**施策反映の経緯の登録** マニュアル W2-88ページ

⑥ 施策反映の経緯を登録して次へ進みましょう  
施策反映の経緯を画面から登録します。

**「居宅サービス」「地域密着型サービス」について、それぞれの施策反映の経緯を入力してください。**

**自然体推計に用いた伸びが表示されます。**

**「保険料額を計算する」ボタンをクリックします。**

76

**施策反映の経緯の登録** マニュアル  
W2-88ページ

⑥施策反映の経緯を登録して次へ進みましょう

チェック結果をダウンロードしてください。  
(マニュアルW2-51ページ参照)

「次へ進む」ボタンをクリックします。

**POINT**

施策反映値のワーニングチェックシートは必ずダウンロードしてください。  
入力した施策反映値に異常値が無いかを確認することができます。

77

**施策反映の経緯の登録** マニュアル  
W2-88ページ

⑥施策反映の経緯を登録して次へ進みましょう

在宅サービス利用者数の施策反映後の保険料額が表示されます。

「保険料額の算定」メニューが選択されます。

「保険料額の算定」画面が表示されます。

78

目次

1. はじめに

- ・将来推計機能の概要
- ・将来推計機能を利用するための準備

2. 将来推計機能の使い方

- ・将来推計の流れと主な使い方
- ・将来推計画面を表示する
- ・将来推計を始める
- ・推計に用いる実績値と推計方法を確認・設定する
- ・自然体推計値を確認する
- ・認定者数について施策反映する
- ・施設・居住系サービスの利用者数について施策反映する
- ・在宅サービス利用者数について施策反映する
- ・保険料額を算定する
- ・推計結果を確認する
- ・推計データを中断する／途中から始める

マニュアル  
W2-96ページ

**所得段階別第1号被保険者数（標準段階区分）の入力**

本メニューで第7期及び平成37年度の保険料額推計に必要な費用を入力し、最終的な保険料額を算定します。

①所得段階別第1号被保険者数（標準段階区分・割合）を入力しましょう

80



**所得段階別第1号被保険者数（標準段階区分）の入力** マニュアル  
W2-96ページ

①所得段階別第1号被保険者数（標準段階区分・割合）を入力しましょう

「平成37年度」を選択し、同様に入力してください。

所得段階	標準所得金額(円)	所得段階別第1号被保険者数(人)			標準額に対する割合		
		H30	H31	H32	H30	H31	H32
第1段階	—	0	0.0%	0	0.0%	0.50	0.50
第2段階	—	0	0.0%	0	0.0%	0.75	0.75
第3段階	—	0	0.0%	0	0.0%	0.75	0.75
第4段階	—	0	0.0%	0	0.0%	0.90	0.90
第5段階	—	0	0.0%	0	0.0%	1.00	1.00
第6段階	—	0	0.0%	0	0.0%	1.20	1.20
第7段階	1,200,000	0	0.0%	0	0.0%	1.50	1.50
第8段階	1,900,000	0	0.0%	0	0.0%	1.50	1.50
第9段階	2,500,000	0	0.0%	0	0.0%	1.70	1.70
計	—	0	0.0%	0	0.0%	—	—

標準段階区分における第7期の所得段階別第1号被保険者数を入力します。

**CHECK**

所得段階別第1号被保険者数の合計人数が「実績及び推計方法の設定」で登録した第1号被保険者数の合計と一致しないと、エラーとなり保存することができません。

81

**所得段階別第1号被保険者数（標準段階区分）の入力** マニュアル  
W2-96ページ

①所得段階別第1号被保険者数（標準段階区分・割合）を入力しましょう

「平成37年度」を選択し、同様に入力してください。

所得段階	標準所得金額(円)	所得段階別第1号被保険者数(人)		標準額に対する割合	
		H37	H37	H37	H37
第1段階	—	13,671	19.9%	0.50	0.50
第2段階	—	3,710	5.4%	0.75	0.75
第3段階	—	3,710	5.4%	0.75	0.75
第4段階	—	10,923	15.9%	0.90	0.90
第5段階	—	5,733	8.3%	1.00	1.00
第6段階	—	5,733	8.3%	1.20	1.20
第7段階	1,200,000	8,382	12.2%	1.30	1.30
第8段階	1,900,000	6,395	9.3%	1.50	1.50
第9段階	2,500,000	8,244	12.0%	1.70	1.70
計	—	68,701	100.0%	—	—

各段階に数値を入力後、「メニューに戻る」ボタンをクリックします。

**CHECK**

所得段階別第1号被保険者数の合計人数が「実績及び推計方法の設定」で登録した第1号被保険者数の合計と一致しないと、エラーとなり保存することができません。

82

マニュアル  
W2-96ページ

## 所得段階別第1号被保険者数（標準段階区分）の入力

①所得段階別第1号被保険者数（標準段階区分・割合）を入力しましょう

「OK」ボタンをクリックします。

83

マニュアル  
W2-96ページ

## 所得段階別第1号被保険者数（標準段階区分）の入力

①所得段階別第1号被保険者数（標準段階区分・割合）を入力しましょう

メニューの状態が「入力済です」に変わっています。

「保険料額の算定」画面に戻ります。

84

**所得段階別第1号被保険者数（弾力化を行う場合）の入力** マニュアル W2-96ページ

②所得段階別第1号被保険者数(弾力化を行う場合)を入力してみましょう  
 保険料額設定の弾力化を行う場合のみ、本メニューで所得段階別第1号被保険者数を入力します。  
 標準段階のみで保険料額を算定する場合は、本操作をスキップしてください。

**「所得段階別加入者数等②」  
ボタンをクリックします。**

所得段階別第1号被保険者数  
標準段階以外の標準額を超過する場合は、入力下駄です。

所得段階別第1号被保険者数  
標準段階以外の標準額を超過する場合は、入力下駄です。

所得段階別第1号被保険者数  
標準段階以外の標準額を超過する場合は、入力下駄です。

85

**所得段階別第1号被保険者数（弾力化を行う場合）の入力** マニュアル W2-96ページ

②所得段階別第1号被保険者数(弾力化を行う場合)を入力してみましょう  
 保険料額設定の弾力化を行う場合のみ、本メニューで所得段階別第1号被保険者数を入力します。  
 標準段階のみで保険料額を算定する場合は、本操作をスキップしてください。

**第7期の弾力化後の以下項目  
（白色セル）を入力します。**

- ・基準所得金額
- ・所得段階別第1号被保険者数
- ・基準額に対する割合

標準所得金額(円)	所得段階別第1号被保険者数(人)			基準額に対する割合		
	H30	H31	H32	H30	H31	H32
第1段階	12,699	12,795	12,981	0.50	0.50	0.50
第2段階	3,421	3,472	3,522	0.65	0.65	0.65
第3段階	3,421	3,472	3,522	0.75	0.75	0.75
第4段階	10,074	10,223	10,372	0.90	0.90	0.90
第5段階	6,289	6,301	6,393	1.00	1.00	1.00
第6段階	6,715	6,815	6,914	1.15	1.15	1.15
第7段階	890,000	7,285	7,500	11.5	11.5	11.5
第8段階	1,250,000	6,053	6,172	9.6	9.6	9.6
第9段階	1,900,000	1,837	1,855	2.9	2.9	2.9
第10段階	2,500,000	3,408	3,443	3.8	3.8	3.8
第11段階	3,500,000	3,140	3,157	1.8	1.8	1.8
第12段階	5,000,000	760	772	1.2	1.2	1.2
第13段階	7,000,000	1,395	1,415	2.2	2.2	2.2
第14段階	—	0	0	0.0	0.0	0.0

所得段階別第1号被保険者数の合計人数が「実績及び推計方法の設定」で登録した第1号被保険者数の合計と一致しないと、エラーとなり保存することができません。

86

マニュアル  
W2-96ページ

### 所得段階別第1号被保険者数（弾力化を行う場合）の入力

②所得段階別第1号被保険者数(弾力化を行う場合)を入力してみましょう  
 保険料額設定の弾力化を行う場合のみ、本メニューで所得段階別第1号被保険者数を入力します。  
 標準段階のみで保険料額を算定する場合は、本操作をスキップしてください。

「平成37年度」を選択し、  
同様に入力してください。

所得段階	標準所得金額(円)	所得段階別第1号被保険者数(人)	標準額に対する割合
第1段階	—	13,671	19.9%
第2段階	—	3,710	5.4%
第3段階	—	3,710	5.4%
第4段階	—	16,923	15.9%
第5段階	—	6,713	9.8%
第6段階	—	7,282	10.6%
第7段階	606,000	7,901	11.5%
第8段階	1,250,000	6,585	9.6%
第9段階	1,900,000	1,992	2.9%
第10段階	2,950,000	2,611	3.8%
第11段階	3,500,000	1,237	1.8%
第12段階	5,000,000	824	1.2%
第13段階	7,000,000	1,512	2.2%

各段階に数値を入力後、  
「メニューに戻る」ボタン  
をクリックします。

**CHECK**

所得段階別第1号被保険者数の合計人数が「実績及び推計方法の設定」で登録した第1号被保険者数の合計と一致しないと、エラーとなり保存することができません。

87

マニュアル  
W2-96ページ

### 所得段階別第1号被保険者数（弾力化を行う場合）の入力

②所得段階別第1号被保険者数(弾力化を行う場合)を入力してみましょう  
 保険料額設定の弾力化を行う場合のみ、本メニューで所得段階別第1号被保険者数を入力します。  
 標準段階のみで保険料額を算定する場合は、本操作をスキップしてください。

「OK」ボタンをクリックします。

マニュアル  
W2-96ページ

### 所得段階別第1号被保険者数（弾力化を行う場合）の入力

②所得段階別第1号被保険者数(弾力化を行う場合)を入力してみましょう  
保険料額設定の弾力化を行う場合のみ、本メニューで所得段階別第1号被保険者数を入力します。  
標準段階のみで保険料額を算定する場合は、本操作をスキップしてください。

89

マニュアル  
W2-104ページ

### 保険料額算出に必要な数値の入力

③保険料額算出に必要な数値を入力しましょう  
総給付費以外の標準給付費を構成する費目、地域支援事業費、財政安定化基金、準備基金、市町村特別給付費等、市町村相互財政安定化事業、予定保険料収納率について、第7期及び平成37年度分を入力します。本メニューが保険料額の算出に必要な最後の入力作業となります。

90

**保険料額算出に必要な数値の入力** マニュアル W2-104ページ

**③保険料額算出に必要な数値を入力しましょう**

90

**保険料額算出に必要な数値の入力** マニュアル W2-104ページ

**③保険料額算出に必要な数値を入力しましょう**

92

マニュアル  
W2-104ページ

### 保険料額算出に必要な数値の入力

③ 保険料額算出に必要な数値を入力しましょう

④ 保険料額の算出

マニュアル  
W2-109ページ

マニュアル  
W2-109ページ

### 保険料額の算出

④ 保険料額を算出しましょう  
以下の操作により最終的な保険料額を算出してみましょう。

④ 保険料額を算出しましょう  
以下の操作により最終的な保険料額を算出してみましょう。

④ 保険料額の算出

94

### 保険料額の算出

マニュアル  
W2-109ページ

**④保険料額を算出しましょう**

保険料額の計算が完了しました。  
 施策反映値のワーニングチェックシートをダウンロードしていただき、  
 チェック結果のダウンロード  
 保険料額は、直前上期の「保険料額(月額)」に表示されています。  
 「次へ進む」をクリックすると「保険料額の内訳の画面」へ続きます。  
 保険料額の内訳を見る  
 次へ進む

チェック結果をダウンロードしてください。  
 (マニュアルW2-51ページ参照)

「次へ進む」ボタンをクリックします。

**POINT**

施策反映値のワーニングチェックシートは必ずダウンロードしてください。  
 入力した施策反映値に異常値が無いかを確認することができます。

95

### 保険料額の算出

マニュアル  
W2-109ページ

**④保険料額を算出しましょう**

保険料額の最終結果が表示されます。

保険料額(月額) 第7期 5,104円 (円) 前比(77%) 5,947円 (円)

保険料額の内訳の確認

(1) 財政安定化基金受取額・準備基金取崩額の影響・前7期と第7期と第1号受取者の保険料の基準額(月額)の比較  
 第6期の第1号受取者の保険料の基準額(月額)(円) 5,831

第7期の第1号受取者の保険料の基準額(月額)(円)	5,109	地方化した場合の第7期の第1号受取者の保険料の基準額(月額)(円)	
財政安定化基金受取額の影響額(円)	0	財政安定化基金受取額の影響額(円)	
準備基金取崩額の影響額(円)	129	準備基金取崩額の影響額(円)	
第6期一割7期増減率【保険料の基準額】	-12.4%	第6期一割7期増減率【保険料の基準額】	-12.5%

(2) 介護保険料基準額(月額)の内訳

	第7期		H37	
	保険料基準額	地方化した場合	保険料基準額	地方化した場合
経給付費	4,741	4,756	5,716	5,750
在宅サービス	2,792	2,790	3,268	3,295
在宅居サービス	931	930	1,259	1,259
施設サービス	1,029	1,026	1,149	1,147
その他給付費	223	223	215	214
地域支援事業費	201	201	317	317
財政安定化基金【支出金見込額・償還金】	21	21	24	24
施設付均等給付費等	2	2	4	4
各種料取崩の影響額(月額)	5,229	5,233	6,315	6,309
準備基金取崩額	129	129	362	362
基準保険料額(月額)	5,109	5,104	5,953	5,847

保険料額(月額)の内訳が表示されます。

内訳について、グラフで確認することもできます。

95



マニュアル  
W2-109ページ

### 保険料額の算出

④保険料額を算出しましょう

**保険料額の内訳の確認**

(1) 財政安定化基金等預金・準備基金取崩しの影響・第6期と第7期の第1号被保険者の第14期の標準額（月額）の比較

第6期の第1号被保険者の保険料の標準額（月額）（円）	5,931	
第7期の第1号被保険者の保険料の標準額（月額）（円）	5,104	強力化した場合 第7期の第1号
財政安定化基金等預金の影響額（円）	0	財政安定化
準備基金取崩しの影響額（円）	129	準備基金取
第6期→第7期の標準額（保険料の標準額）	-12.4%	第6期→第7期の標準額（保険料の標準額）
		-12.5%

「メニューに戻る」ボタンをクリックして戻ります。

(2) 介護保険料標準額（月額）の内訳

	第7期		H37	
	保険料標準額	強力化した場合	保険料標準額	強力化した場合
総給付費	4,761	4,756	5,756	5,750
在宅サービス	2,792	2,790	3,398	3,395
居宅サービス	931	630	1,209	1,208
施設サービス	1,038	1,036	1,148	1,147
その他給付費	222	223	215	214
地域支援事業費	231	231	317	317
財政安定化基金（支出見込額+償還金）	21	21	24	24
市町村特別給付費等	2	2	4	4
介護保険料標準額（月額）	5,238	5,233	6,315	6,309
準備基金取崩額	129	129	352	352
標準保険料額（月額）	5,109	5,104	5,953	5,947

97

マニュアル  
W2-109ページ

### 保険料額の算出

④保険料額を算出しましょう

**保険料額の算定**

第7期及び長期設計の第1号被保険者の保険料額推計に必要な数値を入力し、保険料額を算定します。

- 強力化計算**  
所定標準額第1号被保険者数と、標準額修正率を入力します。
- 所定標準額第1号被保険者数**  
所定標準額第1号被保険者数・標準額修正率について強力化の値を入力します。強力化を行わずに標準額を算定する場合は、入力不要です。
- 強力化率**  
長期計画の標準額に対する費用中、地域支援事業費、財政安定化基金等の費用は、予定保険料額に反映されません。

**保険料額の内訳の確認**

算出した保険料額について、第2期標準額との比較を確認します。

「保険料額の算定」画面に戻ります。

保険料額の内訳については、このボタンから再度確認することが可能です。

一度「保険料額の算定」ボタンにより保険料額を計算すると、「保険料額の算定」ボタンはメニューから無くなります（上記画面の状態）。保険料額の算定以降、数値を修正した場合、変更した数値の保存と同時に保険料額が再計算されます。

98

目次

1. はじめに

- ・将来推計機能の概要
- ・将来推計機能を利用するための準備

2. 将来推計機能の使い方

- ・将来推計の流れと主な使い方
- ・将来推計画面を表示する
- ・将来推計を始める
- ・推計に用いる実績値と推計方法を確認・設定する
- ・自然体推計値を確認する
- ・認定者数について施策反映する
- ・施設・居住系サービスの利用者数について施策反映する
- ・在宅サービス利用者数について施策反映する
- ・保険料額を算定する
- ・推計結果を確認する
- ・推計データを中断する／途中から始める

マニュアル  
W2-115ページ

**入力した施策反映結果・経緯の確認**

①入力した施策反映結果・経緯を確認してみましょう  
施策反映値の確認、および経緯の確認・修正ができます。

左のメニューからクリックしても同様です。

「推計結果概要の確認へ進む」ボタンをクリックします。

100

**入力した施策反映結果・経緯の確認**

マニュアル  
W2-115ページ

①入力した施策反映結果・経緯を確認してみましょう  
施策反映値の確認、および経緯の確認・修正ができます。

101

**入力した施策反映結果・経緯の確認**

マニュアル  
W2-115ページ

①入力した施策反映結果・経緯を確認してみましょう  
施策反映値の確認、および経緯の確認・修正ができます。

	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H37
養老後1	1,494	1,529	1,558	1,585	1,611	1,632	1,826
養老後2	1,423	1,460	1,491	1,521	1,546	1,573	1,741
養老後3	2,144	2,208	2,265	2,320	2,369	2,416	2,719
養老後4	3,105	2,176	2,243	2,307	2,359	2,420	2,737
養老後5	1,606	1,661	1,712	1,760	1,805	1,849	2,050
養老後6	1,349	1,503	1,550	1,595	1,640	1,679	1,911
養老後7	1,275	1,320	1,361	1,400	1,438	1,475	1,676

102

マニュアル  
W2-115ページ

### 入力した施策反映結果・経緯の確認

①入力した施策反映結果・経緯を確認してみましょう  
施策反映値の確認、および経緯の確認・修正ができます。

施策反映の経緯を確認してください

推計に用いた認定者の数：平成26年度→平成27年度  
施策反映方法：認定者数

施策反映の経緯：  
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

保存して閉じる      キャンセル

認定者数の施策反映で登録された施策反映の経緯の内容が表示されています。  
必要に応じて修正してください。

「保存して閉じる」ボタンをクリックすると、元の画面に戻ります。

マニュアル  
W2-115ページ

### 入力した施策反映結果・経緯の確認

①入力した施策反映結果・経緯を確認してみましょう  
施策反映値の確認、および経緯の確認・修正ができます。

認定者数、サービス利用者数の施策反映結果

算定額(空欄) 認定者数	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H37
認定者1	1,494	1,529	1,558	1,585	1,611		
認定者2	1,423	1,460	1,491	1,521	1,546		
サービス1	2,144	2,298	2,355	2,720	2,359		
サービス2	2,105	2,176	2,243	2,307	2,359		
サービス3	1,606	1,661	1,712	1,759	1,805		
サービス4	1,449	1,503	1,550	1,595	1,640		
サービス5	1,275	1,320	1,361	1,400	1,438	1,475	1,515

確認後、「メニューに戻る」ボタンをクリックして、「推計結果の概要」画面に戻ります。

104

マニュアル  
W2-118ページ

### サービス別給付費の推計結果の確認

②サービス別給付費の推計結果の確認をしてみましょう

105

マニュアル  
W2-118ページ

### サービス別給付費の推計結果の確認

②サービス別給付費の推計結果の確認をしてみましょう

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H37
在宅サービス	24,983,765	26,852,971	28,708,143	31,131,423	33,418,243	35,959,270	42,305,...			
福祉系サービス	7,255,248	7,961,441	8,644,351	10,054,485	10,788,687	11,255,893	12,363,...			
施設サービス	16,389,762	17,438,052	18,127,580	18,487,224	19,339,856	20,390,856	20,390,...			
合計	48,628,775	52,252,463	55,680,074	59,673,233	63,546,786	67,646,920	75,060,...			

106

**保険料額の推計結果の確認**

マニュアル  
W2-120ページ

**③保険料額の推計結果の確認をしてみましょう**  
保険料額等の推計結果を年度別で確認できます。

107

**保険料額の推計結果の確認**

マニュアル  
W2-120ページ

**③保険料額の推計結果の確認をしてみましょう**  
保険料額等の推計結果を年度別で確認できます。

	H30	H31	H32	H33	H37
第1号型伊勢自動車	289,475	294,762	300,089	884,345	972,781
新車 (65~74歳)	194,140	193,611	193,081	460,832	506,915
後継 (75歳~)	135,336	141,171	147,007	423,514	465,866
所管府県別加入割合修正後標準者数	290,550	302,175	313,734	906,459	997,149
弾力化した場合の所管別加入割合修正後標準者数	291,015	303,619	314,192	907,976	998,608
標準者数伊勢自動車	78,950,096,000	85,029,541,000	91,438,864,000	255,410,000	272,000,000
地域変換率算出	16,529,710,000	13,191,830,000	51,317,650,000	101,000,000	101,000,000
第1号型伊勢自動車	21,005,557,320	26,008,701,620	31,406,433,080	6,400,000,000	6,400,000,000
保険料率	3,947,504,800	4,251,477,050	4,571,943,200	12,000,000,000	12,000,000,000
保険料率	3.40%	3.54%	3.62%	3.74%	3.74%
後継者数加入割合修正係数	1	1	1	1	1
所管府県別加入割合修正係数	1	1	1	1	1
標準者数伊勢自動車	2,684,303,000	3,010,046,000	3,310,087,000	9,604,436,000	9,904,879,600
財政安定化基金拠出金見込額	0	0	0	0	0
財政安定化基金拠出率	0.0000%	0.0000%	0.0000%	0.0000%	0.0000%
財政安定化基金拠出率	0	0	0	0	0
保険料率の増減 (平成27年度末の見込値)	0	0	0	0	0
準備金取崩れ	0	0	0	21,000,000,000	0
準備金取崩れ率	95	95	95	95	95
準備金取崩れ率(円換算)	826,947	891,958	962,074	1,058,281	1,058,281

108

マニュアル  
WZ-122ページ

### 総括表のダウンロード

④総括表をダウンロードしてみましょう  
 「総括表」は、「推計値のサマリ」、「サービス別給付費」、「施策反映の解説」の3シートから構成されています。保険料額の算定が終わったら、必ずダウンロードして内容を確認してください。

109

マニュアル  
WZ-122ページ

### 総括表のダウンロード

④総括表をダウンロードしてみましょう  
 「総括表」は、「推計値のサマリ」、「サービス別給付費」、「施策反映の解説」の3シートから構成されています。保険料額の算定が終わったら、必ずダウンロードして内容を確認してください。

「ファイルを開く」または「保存」を選択してください。

**POINT**  
 「総括表」は施策反映メニュー以降、画面上部の「総括表」アイコンからダウンロードすることもできます。

「総括表」ボタンをクリックするとダウンロードの確認画面が表示されます

110

目次

1. はじめに

- ・将来推計機能の概要
- ・将来推計機能を利用するための準備

2. 将来推計機能の使い方

- ・将来推計の流れと主な使い方
- ・将来推計画面を表示する
- ・将来推計を始める
- ・推計に用いる実績値と推計方法を確認・設定する
- ・自然体推計値を確認する
- ・認定者数について施策反映する
- ・施設・居住系サービスの利用者数について施策反映する
- ・在宅サービス利用者数について施策反映する
- ・保険料額を算定する
- ・推計結果を確認する
- ・推計データを中断する／途中から始める

推計データを中断して保存する

マニュアル  
W2-123ページ

推計データは、画面を切り替える度に自動保存されますが、メニューから任意のタイミングで保存することもできます。

①推計を中断して保存してみましょう

入力対象サービス利用年	自然体推計	推計値1	推計値2	推計値3	推計値4	推計値5
H27	23.3	31.4	34.1	42.0	43.7	44.1
H28	23.1	31.1	33.7	41.3	42.8	42.5
H29	23.1	33.0	33.4	40.7	42.2	41.6

「推計の開始と保存」メニューをクリックします。

「現在の推計を上書き保存する」をクリックします。



**推計データを中断して保存する** マニュアル  
W2-123ページ

**①推計を中断して保存してみましょう**

保存前に保険料額が計算されます。「OK」ボタンをクリックしてください。  
保険料額の計算処理中の画面が表示され、完了後、自動的に元の画面に戻り、保存が完了します。

保険料額の計算処理に中断します。よろしいですか？

OK      キャンセル

113

**推計を中断して別名で保存する** マニュアル  
W2-125ページ

**②推計を中断して別名で保存してみましょう**  
推計データは複製して別の推計データとして保存することができます。

「推計の開始と保存」メニューをクリックします。

入力)在宅サービス利用費	費金額1	費金額2	費金額3	費金額4	費金額5	費金額6	費金額7
H27	33.3	31.4	34.1	42.0	43.7	44.1	49.4
H28	33.1	31.1	33.2	41.3	42.6	42.5	47.1
H29	33.1	30.9	33.4	40.7	42.2	41.0	45.5
H30			36.0	46.7	47.4	46.0	50.6

在宅サービスの利用者数の施設反映	新しい推計データの新しい推計データから保存した推計から始める/複製も複製する
現在の推計を上書き保存する	現在の推計と別の名前で保存する

「現在の推計を別の名前で保存する」をクリックします。

114

マニュアル  
W2-125ページ

### 推計を中断して別名で保存する

②推計を中断して別名で保存してみましょう

元の推計データの名前が表示されています。  
別の名前に変更してください。

「OK」ボタンをクリックします。

115

マニュアル  
W2-125ページ

### 推計を中断して別名で保存する

②推計を中断して別名で保存してみましょう

保存が完了すると元の画面に戻ります。  
入力した推計の名前はここに表示されています  
(推計の名前が長い場合は、マウスカーソルをあてると吹き出しで名前の全てが表示されます。)

月	推計	要介額 1	要介額 2	要介額 3	要介額 4	要介額 5		
H27	3,352	339	436	659	739	494	357	327
H28	3,397	344	441	668	749	501	362	332
H29	3,445	349	448	677	759	508	367	337
H30	2,402	—	—	610	690	401	332	303
H31	2,415	—	—	620	655	403	335	302
H32	2,423	—	—	626	700	465	333	299
H37	2,487	—	—	665	723	473	330	296

116

**保存した推計データの呼び出し、削除** マニュアル W2-127ページ

③保存した推計データを呼び出したり削除してみましょう  
現在参照している推計とは別のデータを呼び出す手順を説明します。

「推計の開始と保存」メニューをクリックします。

新案推計の概要

推計の開始と保存

実績及び推計方法の設定

推計反映

在宅サービスの利用数等の地域反映

自然増減計と在宅サービスの利用数または利用数等について、平成30年度以降に結果の公表として提出される値を入力してください。

区分	推計種別1	推計種別2	推計種別3	推計種別4	推計種別5	推計種別6	推計種別7
H27	23.3	31.4	34.1	42.0	43.7	44.1	49.4
H28	23.1	31.1	33.7	41.3	42.9	42.5	47.1
H29	23.1	30.9	33.4	40.7	42.2	41.6	45.5
H30			30.0	36.1	37.8	36.0	30.0

「保存した推計から始める／推計を閲覧する」をクリックします。

117

**保存した推計データの呼び出し、削除** マニュアル W2-127ページ

③保存した推計データを呼び出したり削除してみましょう

閲覧または推計を始めた  
「推計の名称」を選択して、  
いずれかのボタンをクリック  
します。

**POINT**

- 自分が作成したデータ／他のユーザが作成したデータのいずれかにより実行可能なボタンが異なります。

ボタン名	実行内容	選択した推計データの種類	
		自分が作成	他ユーザが作成
推計を始める	推計データを編集可能な状態で呼び出します。	可	不可
推計を閲覧する	推計データを閲覧状態で呼び出します。編集することはできません。	可	可
推計データを削除する	推計データを削除します。	可	不可

- 上記で「推計を閲覧する」により推計データを呼び出した場合は、推計データを画面上に表示した後に、複製して別の推計データとして保存することができます。⇒マニュアルW2-125ページ参照。

118

—休憩—

※会場内でのお食事はご遠慮ください。  
※飲み物はペットボトルや水筒等、蓋のついた容器のみ持ち込み可能です。



119

4. 演習

120

## その前に・・・

- まずは将来推計アカウントの作り方を習得しましょう。
- ポイントは以下の4つです。

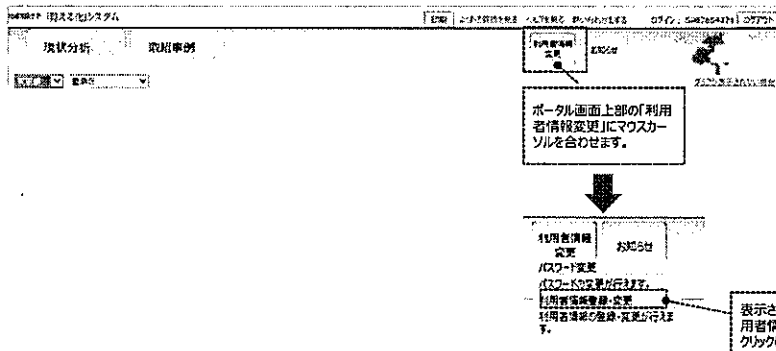
- 1 アカウントを新たに発行できるのは、「アカウント管理者」のみ
- 2 サービスの見込み量推計や保険料の推計を行う担当者のみ、「将来推計アカウント」を利用する
- 3 異動があった際はアカウントの作成・削除の管理を必ずする
- 4 将来推計アカウントの作成は、保険者では今回のリリースから、都道府県では年度末のリリース以降必要

121

## 将来推計アカウントの作成方法（1）

- 「アカウント管理者」のアカウントでログインをします。  
※昨年7月の事務連絡時に都道府県経由でお渡ししたアカウントが「アカウント管理者」です。

ポータル画面からアカウントの新規作成・変更等ができます



122

## 将来推計アカウントの作成方法（2）

将来推計アカウントの新規作成をしましょう

「新規登録」ボタンをクリックします。

権限名を「将来推計」にします。

登録ボタンを押して完了です。

123

## 操作演習にあたって

### ■ 操作演習にあたっての注意

演習中は周りの方と操作を確認し合いながら進めてください。

演習中、分からない点は適宜、講師や助手に質問をして頂いて構いません。

## 操作演習①（課題設定）

- はじめに自然体推計を算出まで実施してください。
- 前半の操作手順説明を振り返りながら、下記のアクションをシステム上でやってみましょう。（15分間）



- 1 平成32年度の男女・要支援1の認定者数を、10人ずつ減らす
- 2 平成32年度の認知症対応型共同生活介護の利用見込み人数を、各要介護度5人ずつ減らす
- 3 平成30年度の訪問介護の要介護1の利用者数を20人増やす
- 4 平成37年度の小規模多機能型居宅介護の要介護4の利用率を3%上げる

※上記の設定は、あくまで操作練習のための課題ですので、内容に意図はありません。  
 ※時間に余裕があれば、当該年度の前後の推計値についても適宜調整してください。

125

## 操作演習①（実演）

～実演～

126

### 操作演習①（参照マニュアルページ）

- はじめに自然体推計を算出まで実施してください。
- 前半の操作手順説明を振り返りながら、下記のアクションをシステム上でやってみましょう。（15分間）



**1** 平成32年度の男女・要支援1の認定者数を、10人ずつ減らす

W2-40頁

**2** 平成32年度の認知症対応型共同生活介護の利用見込み人数を、各要介護度5人ずつ減らす

W2-58頁

**3** 平成30年度の訪問介護の要介護1の利用者数を20人増やす

W2-80頁

**4** 平成37年度の小規模多機能型居宅介護の要介護4の利用率を3%上げる

W2-79頁

※上記の設定は、あくまで操作練習のための課題ですので、内容に意図はありません。

127

### 操作演習②（課題設定）

- 今回から追加になった、下記の新機能を実際に使ってみましょう。（15分間）

**1** 施策反映した値をグラフに反映する

**2** 施策反映後に保険料額を計算する

**3** 参考情報の閲覧

**4** 総括表のダウンロード

**5** 施策反映の経緯の記入

**6** 推計値に対するワーニングチェックの実施

**7** Excel等外部ファイルへコピー・貼り付け

128



## 操作演習②（実演）

# ～実演～

129

## 操作演習②（参照マニュアルページ）

- 今回から追加になった、下記の新機能を実際に使ってみましょう。（15分間）

- |                                |              |
|--------------------------------|--------------|
| <b>1</b> 施策反映した値をグラフに反映する      | W2-44頁       |
| <b>2</b> 施策反映後に保険料額を計算する       | W2-46頁       |
| <b>3</b> 参考情報の閲覧               | W2-45,62,84頁 |
| <b>4</b> 総括表のダウンロード            | W2-122頁      |
| <b>5</b> 施策反映の経緯の記入            | W2-48,66,88頁 |
| <b>6</b> 推計値に対するワーニングチェックの実施   | W2-51頁       |
| <b>7</b> Excel等外部ファイルへコピー・貼り付け | W2-8頁        |

130

### 操作演習②（5. 施策反映の経緯の記入）

施策反映の経緯のポイント：認定者数やサービス量の見込みに関する、都道府県と保険者の担当者間の共通理解の促進する

https://edumer.kent.or.jp/ - 共有資料 - Internet Explorer

保険者が施策反映時に考慮した取組の内容やその影響について記載

↓

都道府県と保険者間で、認定者数やサービス量の見込みについて、共通の理解を共有することが可能になります

施策反映の経緯を登録してください。

国内の原則に準じた経費率の伸び、平成26年度～平成29年度  
施策反映方法：認定者数

施策反映の経緯：

地域長等に送る      伊保に提出する

131

### 操作演習②（6. 推計値に対するワーニングチェックの実施）

ワーニングチェックのポイント：全国の実績値に基づいて算出したおおよその各数値の目安との比較により、異常値の発生に気付きを与える

R60									
A B C D E F G H I J Y									
ワーニングチェック結果									
No.	ワーニング対象指標	利用者数(総数)			変化率 (チェック対象)	割合		チェック結果	
					下限値	上限値			
1	訪問介護	H29	360人	H30	300人	-16.7%	-15.0%	15.0%	下限値を1.7%下回っています。 総数の範囲内です。 割合の範囲内です。
		H30	300人	H31	319人	6.3%			
		H31	319人	H32	333人	4.4%			
2	訪問入浴介護	H29	0人	H30	0人		-50.0%	45.0%	
		H30	0人	H31	0人				
		H31	0人	H32	0人				
3	訪問看護	H29	9人	H30	2人	-77.8%	-25.0%	35.0%	下限値を52.0%下回っています。 上限値を15%上回っています。 総数の範囲内です。
		H30	2人	H31	3人	50.0%			
		H31	3人	H32	4人	33.3%			
			208人	H30	260人	25.0%	-55.0%	55.0%	現在の推計値が全国の実績値と比較して、どのような位置づけにあるかを確認可能 意図しない異常値等への気付きを促す役割
		H30	260人	H31	273人	20.4%			
		H31	273人	H32	368人	17.6%			
			29人	H30	31人	6.9%	-25.0%	40.0%	
		H30	31人	H31	32人	3.2%			
		H31	32人	H32	33人	3.1%			
			1,039人	H30	815人	-20.9%	-10.0%	15.0%	下限値を10.9%下回っています。 総数の範囲内です。
		H30	815人	H31	847人	3.9%			
		H31	847人	H32	882人	4.1%			

現在の推計値が全国の実績値と比較して、どのような位置づけにあるかを確認可能  
意図しない異常値等への気付きを促す役割

※上限値を上回ることや、下限値を下回ることが、推計値として不適切ということではないので、留意してください

132

### ヘルプデスク

■ 将来推計機能の操作方法が不明な場合は、地域包括ケア「見える化」システム ヘルプデスクをご活用ください。

✓ ヘルプデスク専用メールアドレス：  
[mieruka-sys@toshiba-sol.co.jp](mailto:mieruka-sys@toshiba-sol.co.jp)

✓ 開設時間：9:00～18:00(土日・祝日を除く)